



双葉東小学校だより

令和6年 4月19日 文責 学校長 窪田 正幸

新たな出会いを大切に～新年度スタート～

入学・進級した子供たちを祝福するように満開となった校庭の桜が見守る中、4月5日（金）に入学式、8日（月）に新任式・始業式が行われ、令和6年度がスタートしました。新入生102名を迎え、新年度は児童数655名、職員総勢54名でのスタートとなります。子供たちはクラス替えによる新たな友との出会い、そして新任の先生方や新しい学級担任との出会いで、新鮮な気持ちと期待をもって登校してきています。子供たちが、この年度初めのやる気に満ちた気持ちを持ち続けて、「今日は学校が楽しかった。」「明日も学校に行くのが楽しみだな。」と思える毎日が送れるように、職員一同、全力で取り組んでいきます。本年度もよろしくお願いいたします。



優しいお兄さんお姉さん

登校した後の1年生の朝の仕度を、6年生が交代でお手伝いしてくれています。ランドセルから持ち物を取り出したり提出物を出す場所を教えてあげたりと、気を利かせながら、声をかけています。また、朝の会の時間まで、紙芝居を読んであげる活動も行っています。

6年生としての意識が高まる活動です。『立場が人を作る』といいますが、きっと、このような具体的活動を通して、6年生としても、人としても磨かれていくのでしょう。



「すきな学校」から「すてきな学校」へ～

全校集会の中の校長の話の中で、子供たちに「双葉東小学校は、すきな学校ですか？」と投げかけてみました。大変うれしいことに多くの子供たちが手を挙げてくれました。そのような学校がすきな子供たちに、「【す】と【き】の文字の間に【て】を加えると、【すきな学校】が【すてきな学校】になります」という話をしました。

【手を加える】とは、【工夫する】あるいは【今あるものに付け足して良いものにする】ことだと自分なりに解釈しています。例えば、朝、「おはようございます。」とあいさつできることはもちろん素晴らしいことですが、名前が分かる相手には、「〇〇さん、おはようございます。」と名前を付け加えて言ったり、お辞儀をしたりすることで、相手はプラスしてうれしい気持ちになります。また、帰りの「さようなら。」に加えて手を振ったり、「また明日ね」の言葉を付け加えたりすると、きっと相手は、『明日も会いたいな』という気持ちになることでしょう。

あいさつ以外の場面でも、「て」を加えることでバージョンアップすることを見つけていくと、「すきな学校」が「すてきな学校」になります。「すてきな双葉東小」にするための一工夫を、教師も子供も考えて行きたいと思えます。